

授 業 科目名	【 G 】 商法(手形法・小切手法) I		区 分	開講年次	【 G 】 3	単位数	【 G 】 2
			その他参照				
科目区分	専門科目						
授業形態	オンライン授業（動画・音声配信型）						
担当形態	単 独						
施行規則に定める科目区分又は事項等							
サブ タイトル	手形・小切手法の基礎を学ぶ				担当者	及川 知宙	
授業概要	【概要】	手形・小切手は実務上多く取り扱われているものではあるものの、学生のうちに触れる機会は非常に少ない。そこで、手形・小切手法の学習を通じて、手形・小切手がどのようなものか理解する。 本講義では、手形・小切手法総論、手形行為総論、約束手形(振出から裏書)を概説する。					
	【到達目標】	手形・小切手がどのようなものかを理解し、手形・小切手法の基本的な考え方を習得する。					
履修条件	特になし。						
ディプロマ・ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎	(よく当てはまる)				
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	－	(当てはまらない)				
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	－	(当てはまらない)				
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	－	(当てはまらない)				
他科目との 関連性	「商法概論」及び「民法概論」の内容を理解しておくことが望ましい。						
教科書	早川徹著『手形・小切手法 第2版』(2018年 新世社)						
参考書	特になし。						
評価方法	講義内容の理解度を見るため事後課題及び学習到達度確認テスト(2回)で評価します。 評価の配分割合: 事後課題60%、学習到達度確認テスト40%。						
フィードバック 方法	事後課題の解説及び学習到達度確認テストの講評を行う。 履修者からの質問はメール等の手段により随時受け付ける。						
評価基準	各回の授業内容につき、これを十分に理解した者はS評価、理解した者はA評価、概ね理解した者はB評価、最低限の理解をした者はC、理解が不十分な者はD評価とする。とする。各回の授業内容についての理解が不十分な者は、その程度に応じてD評価またはE評価とする。評価不能の場合にはF評価とする。						
その他	特になし。 ※Gカリ: 選択						

授 業 科目名	【 G 】 商法（手形法・小切手法） I	区 分	開講年次	【 G 】 3	単位数	【 G 】 2
		その他参照				
授業回数	授業内容					
1	手形・小切手の意義・法的構造					
	予 習： 手形・小切手の意義・法的構造(3頁から9頁)(90分)			復 習： 講義内容の復習及び事後課題(90分)		
2	手形・小切手の経済的機能と銀行取引					
	予 習： 手形・小切手の経済的機能と銀行取引(10頁から20頁)(90分)			復 習： 講義内容の復習及び事後課題(90分)		
3	有価証券					
	予 習： 有価証券(21頁から33頁)(90分)			復 習： 講義内容の復習及び事後課題(90分)		
4	手形行為の意義と特性					
	予 習： 手形行為の意義と特性(37頁から45頁)(90分)			復 習： 講義内容の復習及び事後課題(90分)		
5	手形行為の成立要件					
	予 習： 手形行為の成立要件(46頁から54頁)(90分)			復 習： 講義内容の復習及び事後課題(90分)		
6	手形行為の有効要件					
	予 習： 手形行為の有効要件(55頁から64頁)(90分)			復 習： 講義内容の復習及び事後課題(90分)		
7	他人による手形行為					
	予 習： 他人による手形行為(65頁から69頁)(90分)			復 習： 講義内容の復習及び事後課題(90分)		
8	無権代理と偽造					
	予 習： 無権代理と偽造(70頁から82頁)(90分)			復 習： 講義内容の復習及び事後課題(90分)		
9	第1回学習到達度確認テスト及び解説					
	予 習： 第1回から第8回までの復習(90分)			復 習： テスト範囲及び解説の徹底確認(90分)		
10	振出					
	予 習： 振出(85頁から99頁)(90分)			復 習： 講義内容の復習及び事後課題(90分)		
11	白地手形・手形の変造(1)					
	予 習： 白地手形の意義・補充権(100頁から107頁)(90分)			復 習： 講義内容の復習及び事後課題(90分)		
12	白地手形・手形の変造(2)					
	予 習： 白地手形の流通と権利行使(108頁から113頁)(90分)			復 習： 講義内容の復習及び事後課題(90分)		
13	裏書(1)					
	予 習： 約束手形の譲渡・譲渡裏書の効力(114頁から119頁)(90分)			復 習： 講義内容の復習及び事後課題(90分)		
14	裏書(2)					
	予 習： 裏書の連続(120頁から129頁)(90分)			復 習： 講義内容の復習及び事後課題(90分)		
15	第2回学習到達度確認テスト及び解説					
	予 習： 第10回から第14回までの復習(90分)			復 習： テスト範囲及び解説の徹底確認(90分)		